

# チャトゲコナジラミの防除適期

農業研究部

## 1. 研究の背景

侵入害虫であるチャトゲコナジラミは県内茶産地に急速に拡大し、爆発的に増加している。そこで、地域の時期別の発生程度を把握することで、現場での防除時期を選定し効率的な防除につなげる。

## 2. 研究成果の内容・普及のポイント

- ・県内における年間の発生世代数は主に3世代で、杵築市の沿岸部や温暖な年は4世代発生する。
- ・成虫の発生時期は年次差・地域差があり、それぞれの地域で判断が必要である。
- ・チャトゲコナジラミの防除適期は若齢幼虫期であり、これは成虫の発生が収束した時期にあたる。
- ・薬剤による防除は農閑期を中心に行うが、多発時には防除適期に補完防除を行う。
- ・茶園更新をすることでチャトゲコナジラミの密度を大幅に低減できる。

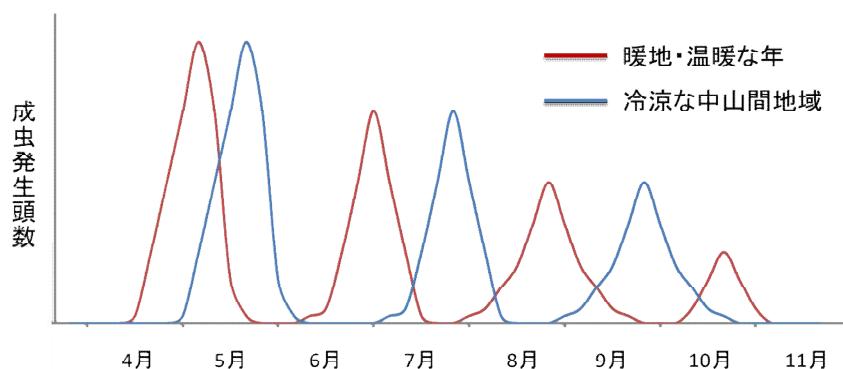


図1. チャトゲコナジラミ成虫発生時期の地域差

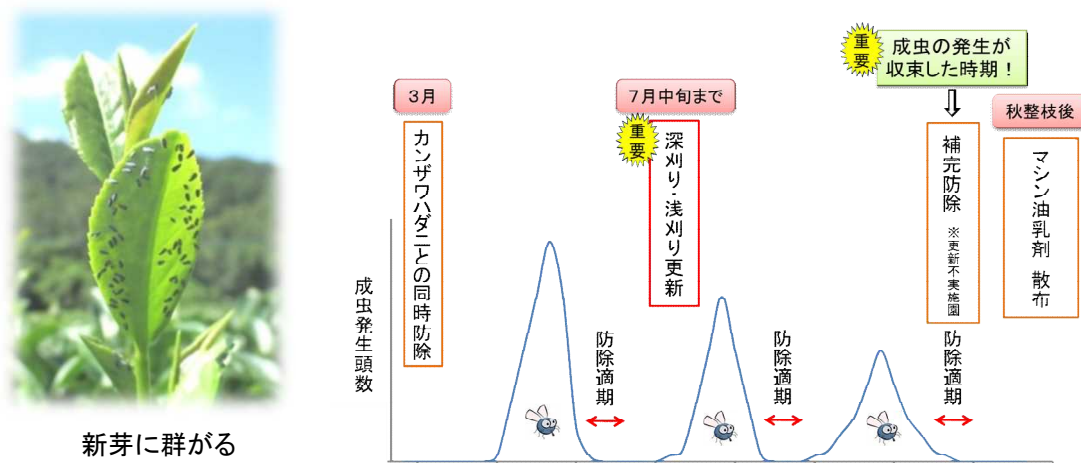


図2. チャトゲコナジラミ防除体系(年3世代地域の例)

## 3. 期待される効果

- ・適期防除により個体密度が低減し、作業性や品質が向上する。
- ・効率的な防除が可能となり、農薬代、散布コストが削減される。

## 4. 担当機関連絡先

農業研究部 葉根菜類・茶業チーム  
TEL : 0974-28-2082  
住所: 豊後大野市三重町赤嶺2328-8